

第5回 市川三郷町立小中学校適正規模・配置等検討委員会

令和7年2月12日(水) 午後7時から
市川三郷町役場本庁舎1階 大会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 教 育 長 あ い さ つ
- 3 委 員 長 あ い さ つ
- 4 協 議
 - (1) 「市川三郷町立小中学校適正規模・配置等検討委員会」地区
説明会開催状況について (P1～P2)
 - (2) 統合に係る経費の見込みについて (P2～P4)
 - (3) 適正配置(案)について(P5)
 - (4) その他
- 5 そ の 他
- 6 閉 会

添付資料 地区説明会配布資料 地区説明会質疑・意見内容

※第6回検討委員会：令和7年3月14日(金)午後7時から、生涯学習センター2階研修
室1・2

主な検討内容(予定)：適正配置(案)について

第7回検討委員会：令和7年3月24日(月)午後7時から、役場本庁舎大会議室

主な検討内容(予定)：答申書の(案)について

(1) 「市川三郷町立小中学校適正規模・配置等検討委員会」地区説明会開催状況について

① 説明会の開催状況について

第4回までの検討委員会の検討内容、経過報告、今後の日程等を説明するために町内の小学校区の地区内において開催し、開催日時、場所、参加者人数は次のとおり。また、説明会配布資料は添付資料のとおり。

日 時	場 所	参加者数（延べ）
令和7年1月14日（火）	山保地区公民館	15人
令和7年1月16日（木）	大同地区公民館	34人
令和7年1月20日（月）	大塚ふるさと交流センター	22人
令和7年1月29日（水）	六郷町民会館	32人
令和7年2月 4日（火）	三珠総合福祉センター	24人
令和7年2月 6日（木）	市川三郷町役場本庁舎	36人
	合 計	163人

説明会開始時間はいずれの会場も午後7時から

参加者内訳（実人数）

内訳	人数	備考
保護者	55人	学校関係者、町教育委員を含む。
一般	39人	
学校関係者	37人	保護者、適正規模検討委員を含む。
議員	11人	県議、町議
町職員関係者	4人	保護者を含む。
町教育委員	4人	保護者を含む。
合計	150人	複数回参加者は1人にカウント、内訳重複あり

② 地区説明会での質問、意見等について

各地区において、多くの質問、意見をいただいた。質問、意見を別添のとおり項目ごとにまとめた。

(2) 統合に係る経費の見込みについて

① 統合による削減見込額について

第4回検討委員会で示した、統合による削減見込額について、削減の対象経費は主に、会計年度任用職員（用務員、学校司書、複式学級解消に係る町単講師）、光熱水費、機械類借上料等を対象とし、削減額を計算した。

i 小学校の削減見込額について (単位：万円)

上野・大塚小学校	市川・市川南・市川東小学校	六郷小学校	合計
-1,935	-3,411	0	-5,346

ii 中学校について、

・4校を1校に統合した場合の削減見込額 (単位：万円)

三珠中・市川中・市川南中・六郷中	合計
-3,332	-3,332

・3校を1校に統合、六郷中が存続した場合の見込額 (単位：万円)

三珠中・市川中・市川南中	六郷中学校	合計
-2,002	0	-2,002

小学校、中学校合計削減見込額

中学校4校を1校に統合した場合：8,678万円

中学校4校を2校に統合した場合：7,348万円

② 統合時に係る経費について

1 スクールバスについて（小学生の利用を想定）

スクールバスについては、乗降車場所や乗車人数等を検討する中で検討する必要があるが、仮に、三珠地区の26人バスで試算を行うと次のとおりとなる。

i バス1台あたりの運行経費の試算について

三珠地区スクールバス運行経費 26人乗り
令和5年度決算から
委託料25万円×12ヶ月＝300万円
燃料代：50万円、車検整備費、修繕費：60万円
合計：年間410万円

児童数が最大となる令和10年度の人数で割り、台数を算出すると次のとおりとなる。

想定される運行ルート	台数	金額
大塚小から上野小	2	820万円
市川南小から市川小	2	820万円
合 計	4	1,640万円

※市川東小については現在市川中学校で運行しているバスを利用

ii バス購入経費について

バス購入については、補助金、過疎債を利用することを考えている。

・26人乗りバス購入費（1台）	2,000万円
・補助金（国補助金）	- 390万円
・過疎債	- 1,127万円
・町負担額	483万円

26人乗りバスは現在1台所有しているので、3台購入すると、

483万円×3台＝1,449万円がバス購入町負担額の見込みとなる。

スクールバス運行経費見込額合計

1,640万円＋1,449万円＝3,089万円

2 身延線通学の定期代について（中学生の利用を想定）

○六郷中学校生徒を対象とした場合

$$\begin{aligned} \text{甲斐岩間駅から市川本町駅 6か月定期（中学生）：} & 22,540 \text{円} \times 2 \\ & = 45,080 \text{円（年間定期代）} \end{aligned}$$

$$45,080 \text{円} \times 45 \text{人（令和11年度六郷中見込生徒数）} = \boxed{2,028,600 \text{円}} \\ \text{（年間負担額）}$$

○市川南中学校生徒を対象とした場合

$$\begin{aligned} \text{鯉沢口駅から市川本町駅 6か月定期（中学生）：} & 12,840 \text{円} \times 2 \\ & = 25,680 \text{円（年間定期代）} \end{aligned}$$

$$25,680 \text{円} \times 20 \text{人（令和11年度市川南中見込生徒数）} = \boxed{513,600 \text{円}} \\ \text{（年間負担額）}$$

○三珠中学校生徒を対象とした場合

$$\begin{aligned} \text{甲斐上野駅から市川本町駅 6か月定期（中学生）：} & 10,400 \text{円} \times 2 \\ & = 20,800 \text{円（年間定期代）} \end{aligned}$$

$$20,800 \text{円} \times 90 \text{人（令和11年度三珠中見込生徒数）} = \boxed{1,872,000 \text{円}} \\ \text{（年間負担額）}$$

$$\text{通学定期利用費合計} \quad \boxed{4,414,200 \text{円}}$$

③ 施設整備について

施設整備については、町関係部局との調整のうえ決定していくことになる。

統合に係る校舎の整備について、国や県の補助金や起債等の利用をした場合。

※参考

- ・学校統合に係る校舎整備について、国補助金：補助対象経費の1／2を補助。
- ・過疎債について、補助金等を差し引いた額のうち、70％が交付税措置され、30％が町負担となる。

④ その他、必要となる経費について

- ・統合校に係る校歌、校章、校旗等作成に係る経費。
- ・備品等の購入に係る経費。

(3) 適正配置（案）について

第4回検討委員会において、次の適正配置（案）について協議した。

①小学校については、

6校の小学校を3校とする（案）

上野小学校、大塚小学校の統合

市川小学校、市川南小学校、市川東小学校の統合

六郷小学校は通学距離を考慮し統合しない

②中学校については、

i 町内中学校を1校とする（案）

三珠中学校、市川中学校、市川南中学校、六郷中学校の統合

ii 町内中学校を2校とする（案）

三珠中学校、市川中学校、市川南中学校の統合

六郷中学校は通学距離を考慮し統合しない

委員会での協議の結果、小学校の適正配置（案）については、「6校の小学校を3校とする」案、また、中学校の適正配置（案）については、「町内中学校を1校とする」案という方向性が確認された。

次回の検討委員会において、適正配置、統合の時期等についても併せて決定していきたい。